

令和2年度版

環 境 白 書

沖 縄 県

令和2年度版

環

境

白

書

沖

縄

県

環境白書の発行に当たって

私たちの暮らす沖縄は、豊かな生態系を育むサンゴ礁が広がる海域に散在する大小160の島々からなり、大陸が分岐した地史の中で生き物は独自の進化を遂げ、イリオモテヤマネコやヤンバルクイナ等多くの固有種を含む希少な動植物が生息しています。豊かな自然環境に恵まれる一方で、島嶼性に基づく地理的条件から環境負荷に脆弱であることや、広大な米軍基地の存在が環境に様々な影響を与えているという特徴があります。



このため沖縄は、各種開発や経済活動等の進展による自然環境の喪失や航空機騒音等の基地から派生する問題、廃棄物の適正処理やマイクロプラスチックを含む海岸漂着物への対応など、様々な課題に直面しています。また、温室効果ガスの増加等に伴う気候変動によって、台風や豪雨による甚大な被害など生活環境や自然環境への影響が顕著化することが想定されています。これらの現状を踏まえつつ良好な生活環境を維持し世界に誇れる豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐことは、私たちの責務であり、環境は有限であることを理解し、負荷の少ない持続的発展が可能な循環型社会を創りあげていかなければなりません。

このような中、沖縄県では、気候変動対策の更なる充実を図るため、今年3月に「第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画」を策定しました。あわせて、2050年度「温室効果ガス排出量実質ゼロ」を目指して、「ゆいまーるの精神」で共に行動し、温室効果ガスの削減等に一層取り組むことを決意する「沖縄県気候非常事態宣言」を行いました。

また、引き続き「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の確実な世界自然遺産への登録に向け、国や関係機関との連携を強化し、遺産価値の維持と適正な利用の両立を図るため各種施策を積極的に展開してまいります。

さらに、これまで沖縄県では、10カ年計画である「沖縄県環境基本計画」を平成15年に、「第2次沖縄県環境基本計画」を平成25年に策定し、各種環境関連施策の推進に取り組んでまいりました。引き続き自然豊かな環境の保全・創造及び環境と経済の好循環による持続可能な発展に寄与する施策を展開するとともに、沖縄らしいSDGsの視点の下、令和3年度から「第3次沖縄県環境基本計画」の策定作業に着手し、社会情勢や環境の変化に対応した計画となるよう取り組んでまいります。

本書は、主に令和元年度の本県における環境の現状と実施した施策についてまとめたものです。皆様の環境への関心と理解をより深め、環境保全活動の一助となれば幸いです。

令和3年3月

沖縄県知事 玉 城 デ ニ ー